

「フィリピンに本をおくる会」通信

No3/2016.11月

発行所：『フィリピンに本をおくる会』事務局（代表：金子多美江）

〒338-0012 さいたま市中央区大戸4-8-13 ☎ 048-831-7538



ついに開館！！～～地域に根づくラトン第3図書館～～

あまりに奥地のため先生の来手がなく、子どもたちが学習できなかったケサンバル。高学年は歩いて3時間の隣接校に通えず近くに下宿、低学年の子は遊ぶだけの毎日でした。この子たちのために小さい図書館をと望まれ2年、私たちの支援と多くの人の努力でついに完成！読み聞かせばかりでなく読み書きも教えているそうです。現地からの感謝のことばがたくさん届いています。



☆☆ 皆さんからの 励ましのお便り ☆☆ ～～～通信2号を読んで～～～

- ◆新しく始まった活動、本当に頭が下がる思いです。自立にはやっぱり教育が大事。わずかですが協力させて頂きます。(M.S)
- ◆フィリピン・マガタで初めて見た図書館の感動をもとに、東チモールに作った図書館の支援を続けています。困難な条件の中ですが、本を必要としている子どもたちのために一緒に頑張りましょう。(N.N)
- ◆本を読むことは、文字を覚えるだけでなく、自分以外の生活を知り、先への希望の道しるべを作る事ですね。翻訳は大変かと思いますが、少しでも長く支援を続けてほしいと願っています。(Y.O)
- ◆お金を寄附するだけの支援なら誰にでも出来ますが、具体的に「目に見える支援」活動には本当に心を動かされました。(K.S)
- ◆自身の心と体を使い、見知らぬ他国の子どもたちのためにここまで尽くしておられる方に感嘆して、少しでもお手伝いしたいと思っています。(E.M)

☆☆ 活動は続く(日本で) 4月～9月 ☆☆

- ◆5月：大宮フリーマーケット。特別暑かった日、毛糸・その作品の販売。売り手はお勧め上手な方ばかりで売れ行き上々。皆すごい日焼け。
- ◆6月：会事務局担当者の友人、岩竹さん宅(横浜)で『手しごと展』を開催、編み物製品の展示即売会。家中所狭しと作品が並び、近所の方々も来訪、支援のための生活用品も、友人たちに声をかけ集めてくださった。
- ◆7月：Kさんの紹介でギャラリー・カフェ「あっぷる・はうす」と知り合い、「あむあむ」作品・フィリピンからの作品の展示販売。「あむあむ」会員が交代で売り手をつとめた。ママ(オーナー)の協力に一同感激。
- ◆8月：東京・オリンピックセンターで開かれた「子どもの本研究会」でフィリピンの活動報告を写真や図で展示。また「送る会」の報告も。
- ◆9月：①8月の予定だった「本づくりの会」は台風のため流れ、9月に開催。10余人の参加で作業し、持ち帰って作成した本も含め100冊ほどが完成。金子さんの教員時代の教え子5人もはせ参じた。
②フィリピンへ荷物送り。本は傷まないように箱の中心に。周りには皆さんから寄せられた支援物資(衣類・タオル・靴・バッグ・石けんなど)を入れる。これを現地で売って、売り上げは図書館の運営費にあてている。日本製品は人気が高いそうだ。

◆4月～10月 本の購入・寄附 492冊

◆9月送付 160冊(絵本:100冊、図鑑類:50冊、英語の本:10冊)

<荷物送り>



<沢山の荷物を分類・整理してつめ・・・>



<梱包して、さあ、出来上がり！フウ～>

1ヶ月余の船旅、
無事着きますように！！